

小樽市立手宮中央小学校

【総合的な学習の時間、社会】

■ 地元 NPO 法人の協力による観光ガイド体験

★活動に関連する目指す子ども像

「地域のよさを知り、ふるさとに誇りと愛着をもつ子ども」
「豊かに表現する子ども」

□ 活動の概要



ふるさと小樽の歴史、伝統、人々の暮らしの特色について理解し、郷土への誇りや愛着を育むことをねらいとして、第5・6学年の総合的な学習の時間に、観光客等を相手に行う観光ガイド体験をゴールに位置付け、小樽の歴史についての探究活動やプレゼンテーション活動を実施しています。

□ 活動の具体

- ・ NPO 法人歴史文化研究所の協力のもと、「ニシン漁」「鉄道」「運河」「石造り倉庫」等、小樽の歴史に関わる講義や博物館など関連施設の見学により、歴史についての理解を深めています。
- ・ テーマ別のグループを編成し、小樽運河周辺に来ている観光客等を相手に、調べたことを発表する観光ガイドを体験する活動を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・ 第4学年の社会科「昔から今へと続くまちづくり」で学習したことを踏まえて探究活動を進められるよう関連を図っています。
- ・ 北陵中学校、高島小学校、本校の3校において、総合的な学習の時間の系統表「学びの地図」を共同で作成し、小・中学校の接続や小学校同士の連携を図られるよう工夫しています。